

各 位

2016年1月12日
株式会社リットーミュージック

顔で弾いてる表紙が目印。
ギター・マガジン 2017年2月号は“ブルース最強説”を徹底検証！



インプレスグループで音楽関連の出版事業を手がける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役：古森優）は、音楽専門誌『ギター・マガジン 2017年2月号』を2017年1月13日に発売します。

『ギター・マガジン』の詳細はこちら <http://www.rittor-music.co.jp/magazine/gm/>

ロックやファンクはもちろんメタルやシューゲイザーなど、あらゆるスタイルに宿っている“ブルース”の遺伝子。ギターを鳴らした瞬間、そのフレーズの中には偉大なブルースマンたちのスピリッツ……すなわち、度胸、ユーモア、優しさ、憂い、ずる賢さ、ろくでもなさ、そして矜持など、人生のピンチを切り抜けるあらゆる要素をないまぜにした、それこそ“ブルース”としか言いようのないフィーリングが流れています。今回、名ブルースマンの演奏風景をとらえた貴重な写真集、彼らが愛したギターたちの紹介、国内の名ギタリスト15人が“ブルースとの出会い”について語ったインタビュー集、スタイル別で習得するブルース奏法特集など、全113ページに及ぶ総力特集で“ブルース最強説”を徹底的に検証していきます。

デスメタルだろうがシティポップだろうがシューゲイザーだろうが、あらゆるスタイルの根幹にはブルースが存在している。もちろん、ロックやファンクは言わずもがな。ギターを導らした瞬間、誰もがその魂を受け継いでいるのだ。そしてそれらのフレーズの中には偉大なブルースマンたちのスピリッツ、まなわち、度胸、ユーモア、優しさ、慕い、ずる賢さ、ろくでもなさ、そして矜持など、人生のピンチを切り抜けるあらゆる要素をなまげにまぜた、それこそ“ブルース”としか言いようのないフィーリングが流れている。というわけで、2017年、ギター・マガジンは“ブルース最強図”を高高らかに掲げた。112ページにも及ぶ大特集を鑑賞した後、これまで気がつかなかった自分の中のブルース魂が騒ぐのを感じたら、あなたも“最強”の域に達する。さて、あれこれゴタクを並べるのはこれでもうおしまい。右のアルバート・キングに一札をして、次のページへと進んでほしい。

徹底検証

ブルース最強説。



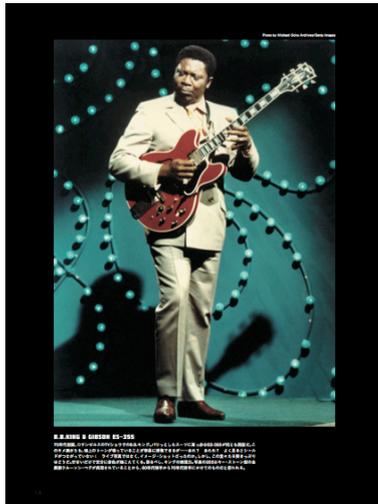
BLUES

◎コンテンツ

●Everyday I have the BLUES

写真で辿る、ブルースマンと彼らが愛したギターたち

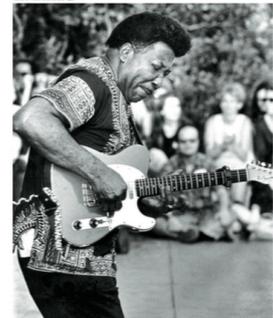
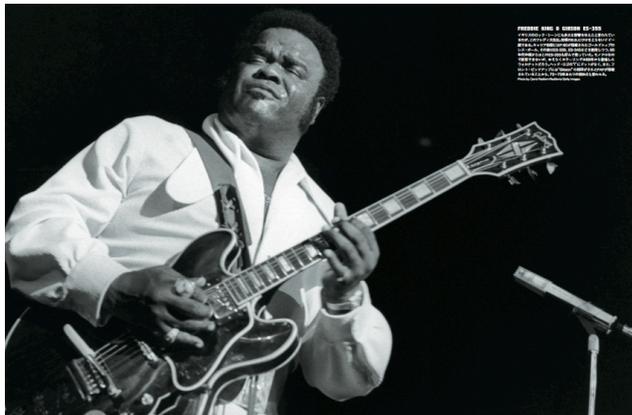
ブルースマンが日々手にする愛器もまた“ブルース”を構成する要素そのもの。そこで、大特集のド頭は“Everyday I have the Blues”と題し、最強のブルースマンたちと、彼らが愛用したギターを写真でたどっていく。高田漣が綴った約2万字にも及ぶブルースマン解説も必読！



EVERYDAY I HAVE THE BLUES

写真でたどる、ブルースマンと彼らが愛したギターたち。

ブルースマンが日々手にする愛器もまた“ブルース”を構成する要素そのもの。そこで、大特集のド頭は“Everyday I have the Blues”と題し、最強のブルースマンたちと、彼らが愛用したギターを写真でたどっていく。高田漣が綴った約2万字にも及ぶブルースマン解説も必読！



Muddy Waters & Fender Telecaster

●FIRST TIME I MET THE BLUES

ブルースと出会ったギタリストたち

ギターを弾いていると必ず出会ってしまう“ブルース”。バディ・ガイの名曲『First Time I Met The Blues』になぞらえ、年齢やジャンルを飛び越えて、さまざまなギタリストたちに“ブルースとの出会い”について語ってもらった。貴重な証言の数々から、溢れ出る“ブルース愛”を感じ取ってほしい。

真島昌利 (ザ・クロマニオンズ/ましまろ) / 菊田俊介/TAKURO (GLAY) / 高田漣/古市コータロー (THE COLLECTORS) / 上原子友康 (怒髪天) / 竹内朋康/TAXMAN (THE BAWDIES) / JIM (THE BAWDIES) / ケンゴマツモト (THE NOVEMBERS) / 潮田雄一/佐々木亮介 (a flood of circle) / オカモトコウキ (OKAMOTO'S) / 林宏敏/Rei



●ローリング・ストーンズ

世界最高峰のロック・バンドが貫き続ける“ブルース”愛

1961年10月17日、英国はダートフォード駅2番ホームで起きたミックとキースの奇跡の出会いから55年の時を経て、バンドの原点である“ブルース”へと回帰することで生み出された新作『ブルー&ロンサム』。3日間で制作されたという本作には、彼らの“ブルースをプレイする喜び”に満ちた瑞々しい演奏が収録されている。盟友エリック・クラプトンの参加もトピックだろう。今回、ストーンズが半世紀以上にわたり貫き続けている“ブルース愛”について、新作を軸にさまざまな角度から掘り下げてみたい。



●SLIDIN' AND GLIDIN'

飲んで、削って、磨くだけ! マイ・ボトル・ネックを作ろう!

古のブルースマンたちは、身近にある車の修理用ソケット・レンチや小型の薬瓶、そして酒瓶をちょん切って自作した“ボトル・ネック”を指にはめ、それらを弦に擦り付けることで内なる心の叫びを表現したものだ。そんな道具の中で最もポピュラーなボトル・ネックを、この機会に作ってみてはどうだろう? 10代の時からスライド・ギターに親しんでいる生粋のブルース・マニア、高田漣を講師に招き、ボトル・ネック製作法を伝授してもらった。



<その他の内容>

- 書籍『ロバート・ジョンソンより前にブルース・ギターを物にした9人のギタリスト』発売記念ギターの魔術師、タンパ・レッド
- 奏法特集：スタイル別で弾きこなせ! ブルース奏法の常套句 2017
- アンプ・メーカーが提示する新しき“Amp In A Box“の世界
- ◎インタビュー

LITE/Keishi Tanaka & 潮田雄一/古市コータロー/SUGIZO/TRIPLE AXE SPECIAL TALK SESSION ~ 猪狩秀平 (Hey-Smith)×SHOW-HATE(SiM)×SUGI&Y.K.C(coldrain) / 浅井健一 / Toru(ONE OK ROCK)/164

《雑誌》

『ギター・マガジン 2016年2月号』

表紙：B.B.キング

発売：1月13日

定価：(本体762円+税)

仕様：A4変型判/250ページ

商品詳細はこちら <http://www.rittor-music.co.jp/magazine/gm/>

【株式会社リットーミュージック】 <http://www.rittor-music.co.jp/>

□所在地：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング □設立：1978年4月10日 □資本金：1億円 □決算期：3月31日 □従業員数：81名(2016年3月31日現在) □代表取締役：古森優 □事業内容：音楽関連出版事業

【インプレスグループ】 <http://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社：東京都千代田区、代表取締役：唐島夏生、証券コード：東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ+サービスを提供するメディア事業を展開しています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 宣伝広報

Tel: 03-6837-4728/ E-mail: pr@rittor-music.co.jp